

あかぎの響通信

第2号



通所授産施設なかま
富士見村障害者デイサービスセンター
つゆ草クラブ
サービスステーションつゆくさ
ヘルパーステーションつゆくさ

発行：社会福祉法人 あかぎの響
〒371-0115 群馬県勢多郡富士見村小沢117-6
Tel: 027-288-1867 Fax: 027-288-1967
e-mail: akagi-no-hibiki@a-hibiki-a06.lunch-box.jp

赤城山から吹く風も日に日に強くなってきていますが、通所授産施設なかま、富士見村障害者デイサービスセンター、つゆ草クラブ、サービスステーションつゆくさ、ヘルパーステーションつゆくさの利用者、職員共々寒さにも負けないくらいに元気よく活動しています。

夏休みには、社会体験や戸外散歩、プール等もありました。秋には、新しい利用者さんが通所になり、さらに充実した日々を過ごしています。そこで、各事業所での利用者さんの活動の様子をご報告させて頂きたいと思っています。

通所授産施設なかま



社会体験

8月16日に渋川市内での買い物やシスティーナ美術館の見学、水沢観音のお参りを体験しました。

買い物では、スーパーで自分の昼食や飲み物を買いました。なかま全体での買い物は初めてでよい体験になりました。美術館や水沢観音では、写真を撮ったりして楽しむことが出来ました。(小池)

富士見村体育祭

10月8日に富士見村で行われた富士見村体育祭に、富士見VYSの皆さんと一緒に参加しました。VYSのテントを借りて、お菓子やスカーフも販売し、12時30分頃南中ソーラン節を踊りました。地域の方から「とても元気で、かっこよかったよ!」と声をかけて頂きました。お菓子やスカーフは完売して南中ソーラン節も日頃の練習の成果が出て良かったです。今回の出演、出店は地域との交流として、とても良い機会になりました。今後も地域とのつながりを大切にしていきたいと思っています。(棚島)



ふれあい・ゆうあい交流フェスタ

10月22日に群馬県青少年会館で行われた、交流フェスタにつゆ草太鼓と南中ソーラン節で参加しました。つゆ草としては9回目でしたが、なかまとしては初めての参加となりました。また、お菓子とビーズ製品の販売をしました。沢山の皆様に御協力を頂き、商品も完売する事が出来ました。御協力を頂きましてありがとうございました。(柳井)

!! 報告 !!

おかげさまで「なかま」は定員になりました。みんなで元気に活動しています

富士見村障害者デイサービスセンター

社会体験 10月の終わりに、デイでは初めての社会体験で昭和村在宅重度心身障害者デイサービスセンター燦に行ってきました。出発する前から利用者さん2人共、喜びを声や体で表していて、とても楽しそうでした。昭和村に着いてから、利用者さん同士の交流や一緒に食事もしました。午後には、音楽療法に参加させていただき、ハンドベルの演奏やリズムをして視野を広げる場に繋がったと思います。2人共、2月に実施される次の社会体験も楽しみにしていると思います。(金井)



調理実習 デイでは、各月にイベントにあわせて毎月第1・3の水曜日を製作活動の時間としています。9月の敬老の日にあわせては、調理実習を行い「栗白玉ぜんざい」を作りました。利用者さんと一緒に、白玉をこねて、丸めて、ゆでました。自分たちで作ったものをおやつとして食べ、自宅へおみやげを持ち帰りました。とても美味しく出来て嬉しそうでした。

季節に合わせた製作活動や、調理実習を今後も楽しくしていきたいと思っています。(須永)

つゆ草クラブ

***** プール遊び *****

今年の夏休みは、梅雨のはだ寒さで始まり、プールの大好きな子ども達には本当に残念な幕開けでした。昨年からの夏休みが1週間短くなり、夏休み保育は合計22日あり、そのうちプールに入ったのは18回。村民プールのライフガードの皆さんには、今年も本当にお世話になりました。みんなが大好きなプール。深いプールに入り、溺れているように泳いでいる子やコースに入って何往復も泳ぐ子、浅いプールで他の友達が遊んでいる様子を観察して模倣して泳いでいる子など、思いっきり遊んでいました。(石関)



***** 食事会とプラネタム鑑賞 *****



8月17日に2年ぶりの試みで、食事会(ステーキのどん)とプラネタリウム鑑賞(生涯学習センター)を夏休み保育に取り入れられました。当日は19人の子ども達が参加して、職員は内心ハラハラしていましたが、店員さんに席まで案内されると、真剣な顔でメニューを見て品定めをし、待っている時や食べている間、他のお客さんに迷惑をかけることはありませんでした。お腹を満たして生涯学習センターへ。プラネタリウムの放映直前、部屋の中の灯りが落とされて多少不安そうなお子もいましたが、みんなで最後まで鑑賞する事が出来ました。

春休みに次の食事会を計画しようと思います。(石関)

ヘルパーステーション つゆくさは、10月から障害福祉サービスの居宅介護事業に加え、行動援護事業、市町村の移動支援事業のサービス提供もおこなっています。

サービスステーション つゆくさ及びつゆ草クラブでは、12月1日より、発達障害児も事業の対象となりました。

~ 編集後記 ~

第2号は秋冬号とさせていただきます。今後は春、夏、秋、冬の年4回の発行を目指して頑張っていこうと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。(須永・金井)